

世界防災フォーラム

News Letter

Vol.10 2022.9 2022年**9月号**

一般財団法人 世界防災フォーラム事務局

TEL: 022-263-1688 E-Mail: info@worldbosaiforum.com WEB: http://www.worldbosaiforum.com



World BOSAI Forum 2023

参加登録は9月下旬より開始予定です

ウェブサイトにて参加登録いただけます。皆様のご参加、ご出展をお待ちしています。

World BOSAL Forum



 $\begin{array}{c} \begin{array}{c} \begin{array}{c} \begin{array}{c} \begin{array}{c} \\ \end{array}\end{array}\end{array} & \begin{array}{c} \begin{array}{c} \\ \end{array}\end{array} & \begin{array}{c} \\ \end{array} & \end{array} & \begin{array}{c} \\ \end{array} & \end{array} & \begin{array}{c} \\ \end{array} & \begin{array}{c} \\$

International Disaster and Risk Conference 2023, SENDAI, JAPAN 仙台国際センター/東北大学 川内萩ホール

公式 WEB サイトで最新情報をお届けしています!



worldbosaiforum.com/2023

9月のイベント等参加情報につきまして

SENDAI SDGsWeek2022

9/18 (日) - 9/25 (日)

会場:仙台市中心部アーケード内

(サンモール一番町、ぶらんどーむ一番町)

仙台青年会議所様主催のイベント「SDGs Week2022~未来を考える1週間~」 に世界防災フォーラムが参加します。

ブースにて財団の活動と、来年 3 月に開催の国際会議「World BOSAI Forum 2023」についてご紹介します。 公式サイト https://sdgs-week.jp/





・オーストラリア ブリズベン アジア太平洋防災閣僚会議 9/19 (月) - 9/22(木)

オーストラリア・ブリズベンで開催される APMCDRR(アジア太平洋防災閣僚会議) エキシビジョンに世界防災フォーラムが出展します。「World BOSAI Forum 2023」についてご紹介します。

発展途上国における災害リスク軽減のための活動

バングラデシュ突風災害被害軽減プロジェクトに参加しました

バングラデシュは高潮や洪水の被害が頻発し、災害に対して非常に脆弱な国のひとつです。数多くの災害被害軽減のプロジェクトが実施されていますが、その多くは高潮や洪水に対するプロジェクトがほとんどです。一方で、バングラデシュはトルネードによる人的被害も発生する国ですが、その実態は解明されておらず、防災対策もほとんど手つかずのままとなっています。

そこで、東北大学災害科学国際研究所が実施する バングラデシュ突風被害災害軽減プロジェクト (支援:ウェザーニューズ財団)に世界防災フォー ラムから小野代表理事・坂本副事務局長が参画い たしました。

2022 年 7 月 20 日に実施されたワークショップでは、産官学民連携として現地の国・防災担当者、大学、NGO、地域住民が一同に介し、突風被害に対する対策を議論いたしました。その後、対策の一環として試験運用しているミニシェルタールームの活用状況や地域住民との対話を行いました。









また、バングラデシュ気象局を訪問した際、トルネードが発生した連絡が入り、急遽翌日現地踏査を行いました。すると、二日連続でトルネードが発生しました。水上に発生したウォータースパウトであり、幸いにも甚大な被害は発生しませんでした。

このように、甚大な被害がいつ発生してもおかしくない状況であると改めて認識いたしました。世界防災フォーラムでは継続してこのプロジェクトに従事し、バングラデシュの突風被害軽減に向けた取組みを推進してまいります。

ご支援のお願い

世界防災フォーラムの活動は皆さまからのご寄付によって支えられています。 いただいたご支援は世界防災フォーラム開催などの事業や、日々の私たちの運営費に活用されます。

個人の方

一人ひとりのご支援が、東北、日本から世界に BOSAIを伝え、災害から命を守る活動を助けます。

ぜひ皆様のあたたかいご支援お待ちし ております。

法人の方

ものやサービス、人材協力、アイデアなどのご提供、W B F の広報活動やファンドレイジング活動へのお手伝いも大歓迎です。頂いたご支援を考慮して、ご講演の場のご提供、社内教育やイベントへの協力、防災ビジネスやネットワーキングのお手伝いなどのリターンを考えております。



ご寄付はこちらから

